※令和４年度以降入学生用

学校番号	２１４

令和５年度　地理歴史科

教科	社会科	科目	世界史探究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	世界史探究　（山川出版）						
副教材等	New・stage　世界史詳覧（浜島書店編集部）　世界史用語集（山川出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

歴史という時間軸を感じ、歴史的事象に「何故」の視点を持つ。歴史を背景とした世界の国の諸事情を踏まえ、現在の世界の成り立ちを考える。地理的条件と歴史を関連付け、総合的に考察する習慣をつける。

２　学習の到達目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ，課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	世界各国の歴史の展開に関わる諸事象について，地理的条件と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	各国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	各国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい世界の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される世界市民としての自覚、各国の歴史に対する理解、他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章 文明の成立と古代文明の特質 第2章 中央ユーラシアと東世界	1　文明の誕生 2　古代オリエント文明とその周辺 3　南アジアの古代文明 4　中国の古代文明 5　南北アメリカ文明 1中央ユーラシア 2秦漢帝国 3中国の動乱と変容	c　人類が自然環境に適応しながら進化し、農耕・牧畜を基礎とする諸文明を築き上げたことに気づくと同時に、人類と言語の分化を理解しようとしている。 a 西アジア世界の地理的特質を把握し、オリエント文明の盛衰、イラン人の活動 を理解している。 c　中国文明の起源（殷・周の成立から秦・漢帝国の動向）文明の成立と発展、独自の宗教・社会制度な ど、アジア世界の形成過程を理解し、現代との関連をとらえようとする。 a 先住民による南北アメリカ文明の形成とその特色を理解している。 b　東アジアにおける北方遊牧民の動向と、三国時代から魏晋南北朝という中国の分裂と動乱の時代を理解し、表現できる。 c 内陸アジアの地理的特質を把握し、台頭した遊牧民とその国家の動向を、オアシス民の活動とともにとらえようとしている。	定期考査	レポート 定期考査	グループワーク 定期考査

※令和４年度以降入学生用

2学期	第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開	4 東アジア文化圏の形成	a 隋唐帝国の国家制度や文化、日本を含む東アジア世界諸国の国家体制の整備や その動向を理解している。	定期考査	レポート	グループワーク
		1 仏教の成立と南アジアの統一国家 2 インドの古典文化とヒンドゥー教の定着 3 東南アジア世界の形成と展開	a インド・東南アジア の地理的特質を把握し、それぞれの文明の成立と発展、独自の宗教・社会制度など、アジア世界の形成過程を理解しようとしている。 b 東南アジアの地理的特質を把握し、中国との関連を含め現代とのつながりを考えようとしている。		定期考査	定期考査
	第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成	1 イラン諸国家の興亡とイラン文明 2 ギリシア人の都市国家 3 ローマと地中海世界 4 キリスト教の成立と発展	b 地中海一帯の地理的特質を把握し、エーゲ・ギリシア・ヘレニズム各文明の特徴をとらえ、表現している。 a 都市国家から大帝国の発展したローマ文明の特質を理解している。			
	第5章 イスラーム世界の成立	1 アラブの大征服とイスラーム世界の形成	a イスラーム世界成立の背景とその特質、アラブ人による発展とイスラーム帝国 の形成を理解している。			

※令和４年度以降入学生用

3学期	第5章 ヨーロッパ世界の形成 第6章 イスラーム文化の伝播と西アジアの動向	1 ヨーロッパ世界の形成 1 イスラーム教の諸地域への伝播 2 西アジアの動向	b　地中海世界解体後、ヨーロッパ世界が東西に分かれ、ゲルマン人移動後の西ヨーロッパでは、外部勢力との対抗の中で封建社会が形成されていったこと理解し、表現できる。 c イスラーム世界成立の背景とその特質、アラブ人による発展とイスラーム帝国 の形成を理解し、現代との関連を考えようとしている。 b インド・東南アジア・アフリカのイスラーム化等、イスラーム世界の拡大の過程を理解し、その伝播の要因を考えようとしている。。 a イスラーム文明の特質とその影響、学問と文化活動の内容、イスラーム都市を 中心としたネットワークの役割を理解している。	定期考査	レポート 定期考査	グループワーク 定期考査

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度